

研修報告

(仲佐 修一)

《研修日程》

研修・視察 月 日	研修・視察先	研修・視察施設	研修・視察内容
5月12日 (火)	リファレンス広 島小町ビル	地方議員研究会	議会制度と質問の作り方×財政 の見方

《研修内容》

1. 地方議員研究会

●研修、視察目的

議会制度と質問の作り方・財政の見方を短期間で習得するため

●説 明 者

地方議員研究会事務局長 杉本康介氏

●説明概要

○初参加でも安心:議会の流れと質問づくりの手順

- 1.議会の全体像:議員の仕事と議会の仕組み
- 2.新人が最初に押さえるルール:会議規則はローカルルール
- 3.一般質問の"役割":何のために質問するのか(目的の置き方)
- 4.テーマの決め方:住民ニーズ・行政課題から選ぶコツ
- 5.質問の組み立て手順:間違いだらけの質問から卒業を
- 6.質問のために必要な資料、これを押さえてから質問づくり
- 7.やりがちな失敗回避:通らない質問や現状を聞く無駄質問など質問のNG例

○財政の基礎を学び、財政の苦手意識を無くす研修

- 1.財政の全体像:予算→執行→決算の流れをつかむ
- 2.地方財政をやさしく整理:全体と地方交付税の仕組み
- 3.予算決算の読み方:まず見るべき「ここだけ」チェックポイント
- 4.決算カードの読み方:決算から見える“実態”のつかみ方
- 5.なぜ財政が苦手になるか:職員や先輩議員も財政は苦手?
- 6.ムダ削減→政策提案:批判で終わらせない"つなげ方"
- 7.財政質問の基本:比較と自治体独自の施策

●考 察

- ・議会の役割は、住民の意思を実現するかどうか決定することであり、首長の責任追及をするのは筋違いであることを学んだ。
- ・「根拠」をよく確認することが大事だと教わり、日頃から「根拠」を確認するよう心がけたいと思う。
- ・予算書、決算書、監査意見書、総合計画、決算カードは質問につながる内容が含まれているので過去に遡って確認してみたい。
- ・「一般質問の目的は行政を動かすこと」であり、そうした視点で質問の組み立てを考えてみたいと思う。
- ・一般質問はテーマを絞ったほうがよいと教わったので、どのように絞っていくのか考えていきたい。
- ・改めてではあるが、よく調べてから質問することが大事であり、今後とも実践していきたい。
- ・地域経済分析システム R E S A S 等を活用し、安来市の姿を可視化して検討してみたいと思う。
- ・悪い質問の例も学んだので、参考にして気をつけ質問していきたいと思う。
- ・「過疎ビジネス」等書籍の紹介があり、取り寄せて購読する予定である。
- ・予算を議決するのは議会であることを肝に銘じて議事に臨みたい。
- ・事業の成果等を細かく聴くよう心がけたい。
- ・地方交付税制度をもう少し掘り下げて研究してみたい。
- ・決算カードの重要性を認識した。
- ・安来市の主要計画・予算編成方針を確認してみたい。

以上、新人議員として必要な視点を学んだので、今後の活動に活かしていきたい。